千葉日報（日刊） 2025年（令和7年）5月29日（木曜日）

安全安心を外国人も

旭署 地域企業向け防犯講座

旭署は、旭市で働く外国人を同署に迎え、防犯講座を開いた。地域で暮らす外国人が犯罪や交通事故に巻き込まれないようにと企画。参加者は警察官の話に熱心に聞き入り、実演で護身術も学んだ。

受講したのはインドネシアとベトナムの計36人と日本人6人。普段は市内の鋼材加工会社と高齢者福祉施設、食品製造メーカーに勤務し、地域で日常生活を送っている。

座学では、県警に4月に新設された「外国人総合対策室」と同署交通課の警察官が講師を務めた。画像を交えて違法賭博や危険ドラッグに注意を求め「日本の法律を守り、お仕事を頑張ってください」と呼びかけた。移動手段で多用される自転車のルールも確認し、交通安全の意識を高めた。

護身術では不審者につかまれた時に逃げる方法などを指導し、刺股の効果的な動かし方も伝授。県警担当者の実演に続き、参加者が実践した。

昨年6月に来日し、研修を経て昨年12月から介護スタッフで働く女性(25)は、護身術が特に参考になったといい「たくさんのことが勉強できてよかった。自転車に乗る時はヘルメットをかぶりライトもつける」と話した。

警察官の手本に続き、「刺股」の使い方を真剣な表情で確かめる参加者＝旭市

千葉日報
発行所 千葉日報社
電話 043(222)9211
©2025
5月29日（木）

千葉日報（朝刊 5/29）にやすらぎ園が参加した旭警察署で行われた防犯講座の記事が掲載されました。